

1. 達成度評価シート（年度 実績評価用）

(1) 年度実績評価

戦略（直接目的）				アクションプラン（具体的手段）				
中項目	内容	R1 市長評価		小項目	内容	R1	R1	R1 評価委員会 意見（要旨）
		評価の理由	達成度			法人評価	市長評価	
1	活動の基盤をなす人材及び資料等の充実並びに施設及び設備の整備	人材面では学芸員を法人固有職員として安定的に雇用するとともに欠員の補充を着実に実施することができた。資料については各館で寄贈・寄託の受け入れを積極的に行ない、点数の増加とコレクションの充実が図られている。また科研費の採択件数の増加により調査研究活動が活性化していることは特筆される。施設・設備の整備・改修についても計画に沿って順調に進められている。全体として、活動基盤の整備と強化については年度計画を上回って実施されていると評価する。	4	1	博物館等資料の新たな収集	3	3	・小項目No.1について、資料の寄贈等はできているが、購入はほぼゼロであるので、このあたりの対応が今後必要。 ・小項目No.6の博物館等の運営に関する調査研究は、機構が現在行っているアンケートだけでは不十分。マーケティング調査まで必要である。 ・小項目No.9について、科研費の採択率が非常に高い。この点は評価していい。
				2	防災及び防犯を含めた博物館等資料の適切な保管及び将来への継承	3	3	
				3	博物館等資料に関する情報及び資料の収集、整理及び提供	3	3	
				4	法人の活動の中核を担う専門的な人材の安定的確保及び育成	4	4	
				5	博物館等資料並びにその保管及び公衆の観覧に関する調査研究	4	4	
				6	博物館等の運営に関する調査研究及び評価等	3	2	
				7	博物館等資料の保全及び効果的な活用のための計画的な修復	3	3	
				8	博物館等の施設として必要な機能及び快適な利用環境の確保に向けた各館の施設の計画的な整備及び改修	3	3	
				9	調査研究活動等の拡充を目指した外部資金の獲得	4	5	
				10	バリアフリー及びユニバーサルデザインに配慮した各館の施設の計画的な整備及び改修	4	4	
				合計	(50点満点)	34	34	
2	幅広い活動及び連携を通じた博物館等の魅力の効果的な発信	新型コロナ感染拡大は年度末の事業実施に困難をもたらしたが、年間を通じて、常設展については各館において魅力向上に努めたことにより過去5年間で最高の104万人の、また特別展についても自主企画・巡回企画を含め多数実施したことにより同じく2番目となる75万人の観覧者数を獲得することができた。また、教育普及事業および成果の公開、資料の活用等の事業も計画通り実施されている。以上のことから、博物館等の魅力発信を目的とした事業については、全体として計画を上回る成果を上げてしていると評価する。	4	11	常設展における展示替え	4	4	・小項目No.16とNo.18は機構の評価は混同している部分が見受けられるので、今後整理が必要。 ・小項目評価No.19については、ユニークベニュー事業を実施・計画できていない館もあったのだから評価は2でもいいのではないかと考える。 ・小項目No.12（自主企画による特別展等の充実）とNo.25（マスメディア等と連携した特別展及び企画展の誘致）は評価を峻別する必要がある。 ・小項目No.12について、巡回展が自主企画にあたるのか精査が必要。
				12	自主企画による特別展等の充実による展示活動の活性化	5	5	
				13	博物館等資料並びにその保管及び公衆の観覧並びにそれらの調査研究に関する教育及び普及の事業を行うこと	3	3	
				14	多様な媒体及び手段を通じた調査研究その他の活動の成果の公開	3	3	
				15	博物館等資料の貸出し及び他の博物館等関係機関の資料の借用	3	3	
				16	各館の枠を超えた知識及び経験等の共有並びに展示及び広報等における戦略的連携	3	2	
				17	ICT等を活用した博物館等資料に関するさまざまな情報の有効利用及び博物館等資料のアーカイブ化による公開の推進	3	3	
				18	他の博物館等関係機関との相互支援及び協働を通じた相互の資源の保全及び効果的な活用	3	3	
				19	各館の建物及びその附帯設備等を有効活用した幅広い事業の実施	3	2	
				合計	(45点満点)	30	28	

3	戦略的広報の展開	各館において多様な媒体を活用した広報活動に積極的かつ日常的に取り組んでいる。ICOM京都大会にブースを出展し、機構の存在感を示すことができた。	3	20	広報の対象及び時機並びに媒体の特徴を捉えた迅速で柔軟な情報発信	3	3	・小項目No.20について、単にICOMに参加したことは広報ではなく、ミュージアム・フェアに機構として出展し、広く情報を発信したことが評価されるべき。 ・小項目No.22だが、計画では戦略策定までうたっていない。策定に努めるとなっているのであるから、評価を2とするのはおかしい。3が妥当ではないか。
				21	マスメディア等への積極的な情報発信	3	3	
				22	各館の枠を超えたマーケティングの実施及びその結果に基づく広報戦略の策定	3	3	
				23	生涯学習に関する施設その他の博物館等に関連する施設及びその事業者との連携及び協働を通じた広報活動の展開	3	3	
				24	各館の職員の専門的な知識及び技能を活かした効果的な広報活動の展開	4	4	
				合計	(25点満点)	16	16	
4	ソフトの充実及び利用者の受入れ体制の整備	バリアフリー化、多言語表記等のハード・ソフト両面にわたる取り組みを通じて、多様な来館者に対するサービスの改善と充実が図られ、観光客獲得のための事業者との連携も各館において計画通り取り組んでいる。	3	25	マスメディア等と連携した特別展及び企画展の誘致	4	4	・小項目No.28は、市美のように貸室があれば記載できるだろうが、他館においては「芸術文化団体」に限るべきではない。もっと幅広く評価ができるはずだ。 ・小項目No.12とNo.25は評価を峻別する必要がある。(再掲)
				26	さまざまな利用者の受入れ体制の充実	3	3	
				27	多言語表記等による外国人の受入れ体制の充実	3	3	
				28	芸術文化に係る団体への成果発表の機会の提供及び当該団体の活動の奨励	3	3	
				29	さまざまな事業者等と連携した観光客の獲得	3	3	
				合計	(25点満点)	16	16	
5	周辺エリアで活動するさまざまな事業者等との連携	各館とも計画通りにさまざまなイベントを企画・実施し、近隣の事業者等との協力関係を堅実に維持することができている。	3	30	各館の近隣の施設及び周辺エリアで活動するさまざまな事業者等との連携による広報及び誘客	3	3	
				31	各館の近隣の施設及び周辺エリアで活動するさまざまな事業者等と協働して行うイベントの企画及び実施	3	3	
				合計	(10点満点)	6	6	
6	民間企業等との協働等	事業者と連携したグッズ開発については各館において積極的に取り組み、成果を上げている。一方、民間企業との協働等は萌芽的である。	3	32	各館の売店等における民間企業等と連携したサービスの充実	3	3	
				33	民間企業等との協働による各館の活動に関連する商品及び技術の開発	4	4	
				34	博物館等資料及び関連情報を活用した民間企業等の活動の支援	3	3	
				合計	(15点満点)	10	10	
7	こども及び教員等への支援	大阪市の博物館群における学校教育支援の取り組みは全国的にも先進的であり、実績は質量ともに評価できる。	3	35	こども向けワークシートの作成及びワークショップ等の実施	3	3	
				36	教員等を対象とした研修及び教材の開発に係る支援の実施	3	3	
				合計	(10点満点)	6	6	
8	幅広い利用者への支援	各館は博物館実習生を積極的に受け入れている。また多様なメニューで学生、市民の研究活動を支援している。	3	37	学生その他の専門的な知識の習得を目指す者への支援の実施	3	3	・小項目No.37では、自己評価にキャンパスメンバーズの記載がない。記載を要する。
				38	博物館等資料並びにその保管及び公衆の観覧並びにそれらの調査研究に関する教育及び普及の事業を行うこと（再掲13）	3	3	
				39	多様な媒体及び手段を通じた調査研究その他の活動の成果の公開（再掲14）	3	3	
				40	多言語表記等による外国人の受入れ体制の充実（再掲27）	3	3	
				合計	(20点満点)	12	12	

9	参画機会の提供	ボランティアの育成・指導については多くの館で積極的 に取り組む、NPOとの連携についても先進的な事例がみ られる。	3	41	ボランティア及びNPOの各館の活動への参画の促進	3	3	
				42	各館の活動に関する利用者との対話の機会及び場の設定	3	3	
				43	さまざまな人々が自らの学習成果を活用して行う教育活動の 機会の提供及びその奨励	3	3	
				合計	(15点満点)	9	9	
10	大阪中之島美術館 の開館に向けて	2021年度開館に向けた諸準備・調整が滞りなく行われて いる。新たな資料の収集および既存資料の修復・アーカ イブ化にも取り組み、プレイベントの開催など開館に向 けた機運醸成と情報公開も十分になされていると評価で きる。	3	44	コレクション展及び企画展の開催の準備	3	3	
				45	新たな博物館等資料の収集	3	3	
				46	博物館等資料の公開に向けた修復及びアーカイブ化	3	3	
				47	開館に向けた機運の醸成	3	3	
				48	大阪中之島美術館とともに運営するPFI事業者の選定	3	3	
				合計	(25点満点)	15	15	
11	人材の活用と育成	採用においては能力・適性に応じた幅広い人材確保に努 め、障がい者雇用(予定)も含め成果を上げている。また 法人内での人事交流を積極的に進め、研修もきめ細かな 実施を試みている。	4	49	職員の能力が発揮できる組織体制の構築及び適切かつ柔軟な 人員配置	3	3	・小項目No.49(組織体制の構築、人員配置)の年度計 画に「評価制度の構築」とあるが、人事評価制度の導 入は小項目No.56に記載がある。これは年度計画の作り 込みがおかしい。
				50	職員のスキルアップを図るための学習機会の確保	3	3	
				51	包摂的な社会にふさわしい人材の獲得	4	3	
				52	法人の活動の中核を担う専門的な人材の安定的確保及び育成 (再掲4)	5	4	
				合計	(20点満点)	15	13	
12	評価制度の活用	中期計画等の評価に関する法人の規程を定め、初年度の 評価を実施した。法人独自の人事評価制度についても策 定を進め、次年度からの運用が見込まれている。	3	53	法人の中期計画及び年度計画における適正な目標設定及び自 己評価	3	3	・中項目No.12は、対応する小項目No.54(人事評価)は 中期計画レベルでも、「構築し、運用をめざす」とあ る。制度構築ができなかったとって、低い評価とす るのはおかしい。
				54	能力に応じた人事評価の実施	3	3	
				55	法人の適正な目標設定及び評価の基礎となる運営に関する調 査研究の実施	3	3	
				56	インセンティブが適正に働く人事制度の導入	2	2	
				合計	(20点満点)	11	11	
13	ICTの導入及び 活用・民間活力の 導入	専門的な知識又は技能を有する民間人材の登用を積極的 に行ったが、勤怠管理・財務会計システムなどの活用に ついては、今後に向けて課題を有する。	3	57	財務、会計、勤怠、人事及び給与業務等におけるシステムの 導入及び活用	2	2	・中項目No.13は、ICTの導入と民間活力の導入のどちら が上、というのではないので、評価の採点はそこに留意 する必要がある。
				58	事業効果を見極めた外部委託の推進	3	3	
				59	専門的な知識又は技能を有する民間の人材の登用	4	4	
				60	民間事業者等の外部からの意見を聴取する仕組みの導入	3	3	
				合計	(20点満点)	12	12	
14	収入の確保	資産の有効活用による収入の増加があるなど、計画通り 順調に実施していると評価できる。	3	61	幅広い利用者の獲得及び法人資産の有効活用による収入の増 加	3	3	
				62	各館の活動への理解と支援に基づく寄附金等の積極的な獲得	3	3	
				合計	(10点満点)	6	6	

15	経費の節減	契約方法の切り替えを行い、光熱費を約8,700万円削減するなど、一定以上の達成度であると評価する。	4	63	契約の方法、期間及び単価の見直しによる経費の縮減	3	3	
				64	共同調達による経費の縮減	3	4	
				合計	(10点満点)	6	7	
16	環境整備	内部統制に必要な規程及び体制の整備を行っており、計画通り順調に実施していると評価できる。	3	65	法人として内部統制に必要な規程及び体制の整備並びに法人内での周知徹底	3	3	
				66	研究者及び学芸員として必要な規程及び体制の整備並びに法人内での周知徹底	3	3	
				67	各職階及び各職域に応じた必要な権限の付与及び責任の明確化	3	3	
				68	法人の各機関への適切な権限の配分及び各機関における適切な意思形成の確保	3	3	
				69	情報共有に必要なイントラネットをはじめとするＩＣＴの活用の促進	4	3	
				70	内部監査等による定期的な内部点検及び監事による監査の確実な実施	3	3	
				合計	(30点満点)	19	18	
17	重要なリスク回避のための体制の構築	結果としてセキュリティ対策が一元化できていないなど、今後に向けた課題を有するため。	2	71	リスク管理体制の整備及び組織全体で取り組むべき重要なリスクの評価	3	3	
				72	ネットワークセキュリティの強化	2	2	
				合計	(10点満点)	5	5	
18	利用者等の安全確保	安全確保に必要な体制の整備及び各館で業務に従事する関係者への安全意識の周知徹底が図られており、計画通り順調に実施していると評価できる。	3	73	利用者及び職員等の安全確保に必要な体制の整備及び各館で業務に従事する関係者への安全意識の周知徹底	3	3	
				74	博物館等の施設として必要な機能及び快適な利用環境の確保に向けた各館の施設の計画的な整備及び改修（再掲8）	3	3	
				75	バリアフリー及びユニバーサルデザインに配慮した各館の施設の計画的な整備及び改修（再掲10）	3	3	
				合計	(15点満点)	9	9	
19	環境保全の取組み	環境に配慮した取組みの指標化に取り組んでおり、計画通り順調に実施していると評価できる。	3	76	省エネ機器の使用の推奨及び適正な空調温度の設定	3	3	
				77	再生紙その他の資源の有効利用の促進	3	3	
				78	環境に配慮した取組みの指標化及びその公開	3	3	
				79	新たな省エネルギーの実現に向けた取組みの推進	3	3	
				合計	(20点満点)	12	12	
20	情報公開の推進	HP等を通じた情報の積極的な公開に取組むなど計画通り順調に実施していると評価できる。	3	80	ホームページ等を通じた情報の積極的な公開	3	3	
				81	情報公開請求に対する迅速な対応	3	3	
				合計	(10点満点)	6	6	
合計	(100点満点)		63	総合計 (405点満点)		255	251	